



2009年6月23日

【SciVal Spotlight(サイバル・スポットライト)について】

SciVal Spotlight (<http://www.spotlight.scival.com>) は、エルゼビア社が2009年6月より提供を開始する新製品で、戦略的な研究活動計画の策定を支援するウェブベースのソリューションとして開発された。

開発の経緯とねらい:

今日では、科学・技術・医学分野の研究活動がますます学際的になり、共同研究がグローバルに展開されている。そのため、研究機関が自らの研究活動の全体像および世界の研究機関と比べた場合の優位性を俯瞰することが難しくなっている。SciVal Spotlight は、既存の科学の分類にこだわらずに、機関単位で視覚的に研究活動を評価し、今後の研究方針の策定を支援するためのソリューションである。

特徴:

オンラインのインターフェースを通じ、機関単位において、研究活動の「評価」、戦略の「策定」、そして、「実行」への具体的な打ち手の策定が可能となる。つまり、SciVal Spotlight の主な特徴は以下のとおりである。

- マクロの視点からミクロの視点まで、情報の粒度を瞬時に切り替えた分析が可能
- 機関のトップ領域や研究トレンドを視覚的に把握可能
- ミクロのデータを根拠に、提携先や研究者招致などの具体策を立案可能

技術面の補足および利用フローの一例:

従来は論文投稿先のジャーナルのおおまかな分野により論文が分類されてきたが、そのような分類では学際的な分野や萌芽的な分野の論文は見落とされてしまう。そのため、SciVal Spotlight では、まず個々の論文の共引用分析(二つの論文が同時に引用される頻度により論文の類似性を分析する手法)を行い、一定の論文のかたまり(クラスター)を作成。クラスターの分類を基に生成されたサークル・マップ内に、機関固有のトップ領域を算出して配置。各トップ領域は基の論文データまでたどることが可能(別途 Scopus が必要)。また、マトリクス画面上では各トップ領域の相対的な成長性とシェアをマップし、機関の研究資源(研究者や研究費)の投入先候補を示唆。トップ領域内の詳細情報を展開することにより、共同研究機関や採用を強化すべき研究者の選出など、実データに基づいた戦略の立案が可能。

提供形態:

ウェブベースでの提供により、専用ソフトウェアのインストール等が不要で、同時ユーザー数は無制限、24時間利用が可能。製品情報英語版はこちらから(<http://info.spotlight.scival.com>)。

データソースの Scopus(スコーパス)について:

Scopus(<http://www.scopus.com>) は、エルゼビア社が2004年11月に発表した、世界最大規模の書誌・引用文献データベース。世界5,000社の18,000タイトルの学術ジャーナルから収集した3,800万件のレコードを搭載(2009年6月10日現在)。収録範囲の広さから、THE-QS World University Rankings (THE-QS 世界大学ランキング)やOECD(経済協力開発機構)、科学技術政策研究所(NISTEP)等の研究活動分析のデータソースとしても採用されている。

詳細は:<http://info.scopus.com> または日本語サイト <http://japan.elsevier.com/products/scopus/>

※以下、SciVal Spotlight の代表的な画面を掲載

【SciVal Spotlight の主な画面】

